



2024年9月6日  
株式会社みずほ銀行

## 3DE0, Inc. への出資について ～トランジション領域における日本のモノづくり革新の取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、金属 3D プリンターの開発、機能性金属部品の設計・開発、金属部品の製造受託を行う 3DE0, Inc.（本社：アメリカ・カリフォルニア州、以下「3DE0」）に 350 万ドルの出資（以下「本出資」）を行いました。本出資は、みずほ銀行の「トランジション出資枠」（※1）によるものです。

2016 年に創業した 3DE0 は、独自開発の生産プロセス技術「Intelligent Layering」を用いて小/中ロット領域での金属部品の設計・製造の一貫サービスを手掛けるアメリカ・カリフォルニア州に所在するスタートアップです。自社開発した金属 3D プリンターによる高精度の金属部品や、3DE0 が持つ豊富な DfAM（※2）知見に基づく革新的な構造の金属部品を航空・宇宙、医療・ヘルスケア、半導体を始めとした幅広い領域で展開していくことを目指しています。

少子高齢化社会を迎えた日本のモノづくり産業においては、製造現場の担い手不足が課題となっています。特に機械産業や金属加工業における「匠の技術」が必要とされる工程では、技能工の高齢化・引退による熟練技術者不足、技能承継の途絶が問題視されております。みずほ銀行は、デジタル化・生成 AI の活用など DX との親和性が高い金属 AM（※3）を社会実装し、従来特定の技能工により暗黙知化されていた技術の形式知化することは、「匠の技術」の承継に繋がると考えます。

また、DfAM を活用した設計により、従来実現不可能であった金属部品の製造が可能となるため、軽量化による動力燃料の消費量削減、ラティス構造（※4）を活用した熱交換機能の強化によるエネルギー消費量削減など、サプライチェーン全体における GHG 排出量の削減にも繋がると考え、本出資に至りました。

本出資に伴い、みずほ銀行は 3DE0 に出資するセイコーエプソン株式会社、株式会社日本政策投資銀行、岡崎信用金庫と連携して 3DE0 の成長支援を行うとともに、3DE0 の技術・知見を日本国内で広く普及する取り組みを進め、国内金属 AM 市場の開拓・成長を後押しし、ひいては日本の製造業におけるモノづくり革新に貢献していきます。

みずほ銀行は、環境・社会の持続性向上に資する領域（トランジション領域）におけるお客さまの挑戦をサポートすべく、トランジション領域にてお客さまが関与するプロジェクト等に戦略的に出資することで、お客さまと機会とリスクを共有し、広く環境・社会の持続性向上に資する社会的価値をお客さまと共創していくことを目指しています。

ともに挑む。ともに実る。

**MIZUHO**

※1 トランジション出資枠

お客さまが実施するシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）等の開発段階や創業段階にあるトランジション領域に関するプロジェクト等に対し、戦略的、且つ、機動的に投資するための株式出資枠。戦略的且つ機動的な出資判断を行うために、みずほ銀行産業調査部やみずほリサーチ&テクノロジーズを中心に、長年培ってきた〈みずほ〉のトランジション領域における産業知見や環境技術知見を最大限に活用。

※2 DfAM (Design for Additive Manufacturing)

3D プリンティングによる造形に最適化された積層造形法を用いた設計手法

※3 金属 AM (金属 Additive Manufacturing)

金属積層造形、3D プリンティングによる金属部品の製造

※4 ラティス構造

枝状に分かれた格子を周期的に並べることで立体物を作り出す構造

<3DE0 の概要>

会社名 : 3DE0, Inc.  
本社所在地 : アメリカ・カリフォルニア州  
設立 : 2016 年  
代表者 : Scott Dennis  
事業内容 : 金属 3D プリンターの開発・金属部品の製造受託  
U R L : <https://www.3deo.co>

以 上